

義母と岩風呂へ 小さな滝

街の丘の上にある温泉の露天風呂に小さな滝がある。

そこそこ雑誌にも載ったりしている、温泉自体も含め有名スポットのようだ。

.....。

そのことを知人から聞いて、

なんだか楽しそうとリビングでソファに座り話題になった俺とエッチなおっぱいお尻の小さ目で淫乱な義母。

義母はソファで足を組んでテレビを見ている。

真っ白パンツの匂いがする。

ジーンズから腰に少しだけ出ている下着が気になったようで少し限りなく優しく指で触った。

俺は義母と温泉小旅行について相談。

「どんな露天風呂になってるのかな？」

お尻小さ目の義母は興味ありげに言った・・・。

「雑誌に1年前に載っていたからそこそこなところじゃない？」

俺は笑顔で答える。

「人気のエッチな場所らしいよっ！」

・・・確か以前、友人たちとも足を運んだことがあった。

その時は完全に勉強の青春のひとつ
で・・・・・・・・

ひたすらにスポーツや修学旅行だった……。

ソファに座ってテレビを見る義母の太ももはムッチムチ。ピンク色のオーラが出ている。

俺たちの胸は弾んでいた・・・・・・・・。

白い下着の脱衣所・・・・・・・・。

ひたすら温泉でエッチなことばかりを
する中心スペースで・・・・・・・・

露天庭にはキレイな花の木が植えられている。

小さな滝は由緒があるらしく・・・。

ソファに座る義母はキャミソールを脱いで巨乳すぎるおっぱいを露わにした。

過去が爽やかに思い起こされる。

「楽しみにしておくわね・・・」

義母は淫靡に笑った。

毎晩俺が、真っ黒まつ毛香水パンツの義母と朝まで舐め合っているベッド。

シーツはビショビショになるため取り換えが毎晩の日課。

義母は足をまた組み変えた。

温泉小旅行までもう少し・・・・・・・・。

この晩もその期待を持ちながら、朝まで
ずっとファックしていた・・・・・・・・。

温泉利用客たちはみんな

既に解放でひたすらラブラブモード。

当日、ロビーなどでしばらく過ごしたあと、露天風呂の小さな名所の滝へ向かった。

駐車場には車が停まっている。

たまに街の隣の義母のママ友も一緒にドライブしてカーセックスする車である。

ハダカで俺と義母は外へ・・・・・・・・。

小さな滝の横には小さなフィギュアの
ような石像があり、

その横に少し不思議なコップの石像が
一つ。

・・・・・・・・その横には石桶（いしおけ）風呂があった。歪な岩が湯船を取り囲んでいる。

ちょっと待っててね・・・・・・・・

時間軸は温泉へ入る少し前に戻る。

義母が脱衣所で真っ白下着と衣服をロッカーに置いてトイレへゆっくりと歩いていった・・・・・・・・。

しかし慌てていたのでバスタオルをふと脱衣所床に落としてしまう。

(体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました)